

## 第2回優秀女子学生賞 副賞のご紹介

2014年度に『日本木材学会優秀女子学生賞』が創設されました。この賞は木材学とそれに 関連する分野で、優れた研究業績を収めて将来を嘱望される本学会女子学生会員に毎年 2 名 以内に授与されるものです。この賞の詳細と第1回の受賞者については ウッディエンス 035 をご覧ください。また、第1回の副賞につきましては、ウッディエンス 036

[http://www.jwrs.org/woodience/mm036/13\\_Fukusyou.pdf](http://www.jwrs.org/woodience/mm036/13_Fukusyou.pdf)

をご覧ください。

第66回日本木材学会名古屋大会の会期中の3/28に、学会賞授与式が開催され、優秀女子学生賞は東京農工大学大学院(宇都宮大学配置)の相蘇春菜氏と京都府立大学大学院の三好由華氏が授与されました。そこで、本年度の優秀女子学生賞の副賞について、簡単にご紹介させていただきます。

本年度も昭和女子大学環境デザイン学科の桃園靖子教授にお世話になりました。今年は桃園先生のご指導の下、研究室の学生・院生・助手の皆さんで力を合わせて次の写真の作品を製作いただきました。

作品のタイトルは 「迪 michi」です。以下は桃園研究室よりいただいたコンセプトです。

### <コンセプト>

木は自然にあらがうことなく生きようとする

迪は時をたどりひとすじの教えに沿って導いていく

かがやけきらめけと春の陽に

自然に生きている樹木は、その自然に抗うことはありません。

一生懸命に生きている樹木から、今歩む迪を信じて進んでほしいという願いを込めデザインしました。

とのことですが。写真を良く見ていただくと、下面はほぼ正方形ですが、上面は不等辺の六角形であることがお分かりいただけるかと思います。このフォルムに決まるまでが大変だったようですが、木材でありながらひとつの **Solid** としての力強く迪を進む というコンセプトも表現できているのではないかと存じます。なお、素材はサントスローズウッドという南米産のマメ科の広葉樹で、オイル仕上げとなっています。重厚な木質のため、加工に苦勞されていましたが、最終的な仕上がりは美しく緻密な表面が生きているのではないかと・・・

これからデザイン系と研究畑と生きる道は異なりますが、受賞者も惜しくも選に漏れた応募者も作品を制作してくれたデザイナーの卵の方たちも じっくりと問題解決に取り組んでいただき、最後にはこの作品のような美しい仕上がりになっていただきたいと心よりお祈り申し上げます。

中山 榮子

(男女共同参画担当参事、学会賞担当、ダイバーシティ委員会、昭和女子大学)

